



40名の新入生を迎え入れ、全校児童307名となった相川小学校の令和5年度がスタートしました。相川小学校は、児童の学校生活の基盤となる「学級」を大切にしていきます。規律正しく、楽しく、安心して過ごせる「学級」をつくり、そこで展開される「学習の時間」を大切にしていきます。何を大切にするかを明確にし、限られた時間の中で豊かな学校生活を展開していきます。

相川小学校の令和5年度がスタートしました



4月6日に入学式が挙行され、40名の1年生が元気よく小学校生活をスタートさせました。

前日の5日には、6年生の児童が登校し、入学式の準備に取り組みました。自分で考え手際よく働く6年生を見て、この1年間、全校児童をよい方向に導いてくれることを確信しました。



4月7日には、全校児童が登校し、1学期のスタートを迎えることができました。新任式では、新たに相川小学校に赴任してきた6名の職員が紹介されました。対面式では、新しい仲間である40名の1年生を、楽しい雰囲気の中で迎え入れることができました。始業式で新年度の担任の先生が発表され、希望に満ちた1年間がスタートしました。



令和5年度は、学級数が増えたため、5年生の児童は、西館で生活することになりました。教室は離れてしましますが、全校の児童とのつながりを大切にしていきたいと考えています。

4月13日には、児童会が主催する1年生をお迎えする会が行われました。高学年がお手本を見せて、全校児童がともに頑張っていく相川小学校の新年度が本格的にスタートしました。



令和5年度からの相川小学校教育

ポストコロナの
新しい小学校教育

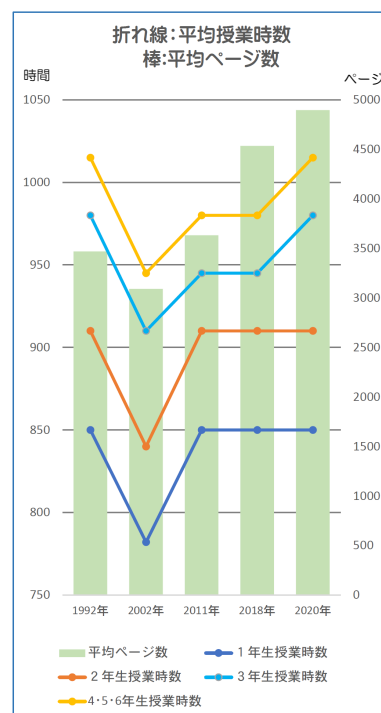
新型コロナ「5類」移行により、様々な行動規制が緩和されます。ポストコロナの教育活動について、相川小学校の方針をお伝えします。

コロナ禍の令和2年度に、小学校学習指導要領が改訂され、小学生が学習する内容が増加しました。それに伴い標準授業時数もかなり増えています。相川小学校では、コロナ禍前の行事や教育活動をそのまま復活させるのではなく、学級をよい集団にするための時間や、学習のための時間を十分に確保していきます。

以前にも紹介しましたが、教科書の総ページ数を比較すると、右のグラフのように増加しています。標準授業時数も増加しています。

教科書の総ページ数・標準授業時数は、小学校の土曜日がお休みになった2002年に大幅に減少しました。その後、徐々に増え続け、標準授業時数は、1992年と同じ時数に戻りました。1992年にはまだ土曜日も登校日でした。現在の小学生は、土曜日の登校がない状況の中で、土曜日の登校があった当時と同じ授業時数を確保し、教科書のページ数にして約40%増加した学習に取り組んでいかなければならないことになります。

だからといって、学習ばかりの毎日では児童の成長は望めません。みんなで協働して高め合う活動や学級をよい集団にするための活動、実際に体験して学習を深める機会は、学校教育だからこそ提供できる貴重な経験の場です。目の前の児童にとって必要なものを熟考し、限られた時間の中で最大限の成長の場を提供できるよう、今後の相川小学校の教育活動を計画していきます。具体的には下表のように計画立てました。



活動名	実施方法	意図
6年生修学旅行	従来通りの方法で実施 必要に応じて感染症対策	・実際に体験して学習を深める機会。大切にしたい。 ・協働して主体性を高める6年生に必要な学習機会。
プールでの学習	1学期に使用 夏休みの開放はしない	・熱中症対策のため夏休みは使用しない。 ・職員の研修機会の保障（免許更新制廃止をうけて）
各学年校外学習	従来通りの方法で実施 必要に応じて感染症対策	・実際に体験して学習を深める機会。大切にしたい。
授業参観	実施 必要に応じて感染症対策	・学校教育の状況を見ていただく大切な機会。 ・必要に応じて半数ずつの参観等の対応も。
5年生林間学校	従来通りの方法で実施 必要に応じて感染症対策	・実際に体験して学習を深める機会。大切にしたい。 ・協働して主体性を高める5年生に必要な学習機会。
学習発表集会	実施しない	・開催してみても児童職員に大きな負担があった。 ・学習成果を授業参観・ホームページ等で発信。
秋季運動会	半日日程で実施 必要に応じて感染症対策	・半日日程で教育活動としての目標を達成可能。 ・授業時数確保のため特別日課は組まない。
児童会活動	実施 高学年の負担軽減	・児童の主体性を育む貴重な教育活動。 ・高学年にかかる大きな負担を軽減するような工夫。
卒業証書授与式	実施 在校生は参加しない	・卒業生児童とその家族を主人公とした運営。 ・5年生は修学旅行準備や新児童会準備に集中する。